



3歳男児。熱が3日続き、詳しい

検査のための採血で大泣き……。どう対応したら良いでしょうか。



小児科で扱う病気の多くは、

数日で良くなるいわゆる風邪またはウイルスの感染によるものです。しかし、風邪に似た病気の中には、重い病気も含まれています。診断が困難な病気も少なくありません。さらに、風邪でもいろいろな合併症が起ります。

これらを正しく診断するには、血液検査は避けられませ

ん。血液を指ま
たは耳たぶから
数滴だけとって
検査できる場合
もあります。し
かし、ほとん
ど
の場合には十分
量の血液を必要
とします。静脈
に針を刺して
血液をとらな
ければなら
ません。これ
には、ど

採血で大泣き…前もって十分説明を

ても痛みがあります。

採血のときは両親と一緒にいて、励ましてあげることが良い場合もありますので、医師と相談してください。言葉の理解できる子どもは、前もって十分説明することが大切です。決して「それは言わないように」「少し痛いけれど我慢しようね」などと伝えてください。終わったら、よく頑張ったねと褒めましょう。採血した皮膚のあとが、紫色になっても心配はいりません。だんだん緑色、黄色になって1週間くらいで消えます。



子育て相談室

採血が必要となる場合はほかに、血液型を調べる、アレルギーで原因の検査をする、顔色が悪くて貧血があるかどうか調べるなどがあります。〈水戸市中央町の平野こどもクリニック院長・平野岳毅〉